

# 高梁市における 子どもと地域の未来をつくる取組 ～高校魅力化プロジェクト～



令和8年1月30日（金）

高梁市教育委員会事務局  
（高梁市高校魅力化推進プロジェクトチーム事務局）  
参与 福原 洋子

# プロフィール

中学校社会科教員 3校  
(16年)

県教育行政 8か所  
(17年)

中学校管理職 1校  
(3年)

市教育行政 4年目

生涯学習・社会教育(11年)

平成14年度社会教育主事取得→発令

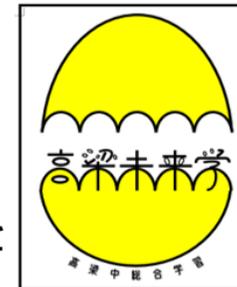
「高梁未来学」立ち上げ  
CSを活用した学校運営

学校地域連携担当  
高校魅力化担当

# ※参考

## 『高梁未来学』

～高梁市で学ぶ・自分の未来を考える～



教科等で学んだことや学校生活で身に付けた力を生かしながら、地域を学習のフィールドとし、地域と協働して地域の未来と自分の将来・生き方について考える。

### 第1学年

#### 「発見！高梁スピリット！」

地域のために活動している人を  
『知る・伝える』

地域の発展のために行われている（行われてきた）活動取材し、いろいろな人に支えられて社会が成り立っていることを知り伝える。

### 第2学年

#### 「高梁ジョブ・リサーチ」

地域で職業や仕事を  
『体験する・探究する』

職場での体験を通して、働く意義ややりがいを実感するとともに、自らが設定した課題を体験学習や様々な大人との出会いの中で探究する。

### 第3学年

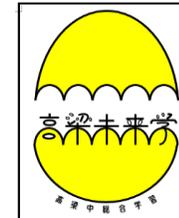
#### 「地域貢献プロジェクト」

地域の課題に向き合い  
『解決する』

地域の課題に対して地域と協働しながら情報等を収集・分析し、課題解決に向けて提案したり、活動を行ったりする。

# ○「地域貢献プロジェクト」を終えての生徒の振り返り

非認知能力  
の向上



	活動前	活動後
A	成功できるかどうか心配	自分の担当を責任を持って行い、みんなと協力して成功させることができ、自分はこういう活動をするのが好きだと気付いた。
B	自己評価でわからない項目が8割以上	様々な活動を通して自分への理解が深まったり、地域への関心が持てるようになった。自己評価も明確にすることができた。
C	面倒で乗り気がしない	活動はやりがいがあって達成感がすごかった。楽しかった。
D	パワーポイントの作成や初めて会う人と話すことが不安	自分は思っていたよりきちんとできていることがわかった。人としてはまだまだ足りなかった。
E	とても楽しみ	街頭アンケートやポスターづくり、プレゼン作成を通じて自分の得意・不得意がわかった。新たな得意分野も見えてきた。
F		中学生としては、大人と同じように接してもらったので、貴重な時間だった。

## 〈卒業生の声〉

自分たちで行動したり、考えたりするときの中学生のエネルギーはこんなにあるのだと驚いた。課題を解決していく中で自分たち中学生にできることは想像以上にたくさんあると感じた。

## 〈大人の声〉

学校から協力依頼があると地域はとても動きやすい。子どもたちが地域に目を向ける機会があることは大変重要。子どもたちと一緒に考えたり活動したりすることで、大人も気づきがたくさんある。

# 高梁中学校 3年「地域貢献プロジェクト」での実践事例

- ・「備北バスに1か月に1回のってもらおうプロジェクト」
- ・「備中牛を広めようプロジェクト」
- ・「成羽美術館オリジナルスイーツを考えるプロジェクト」
- ・「小学生が中学校に進学する不安を解消するプロジェクト」
- ・「小学生とご当地カルタを作ろうプロジェクト」
- ・「高梁市図書館の小学生利用者を増やそうプロジェクト」
- ・「地域猫活動を知ってもらおうプロジェクト」
- ・「備中松山城ライトアッププロジェクト」
- ・「高梁川の鮎を救うプロジェクト」
- ・「備中神楽を引き継ぐ人を増やそうプロジェクト」
- ・「大阪桐蔭おもてなしプロジェクト」

など

※校内での発表会



「高梁未来学」地域向け説明会・地域向け発表会

## ※参考

# 地域と連携・協働した探究的な学習の事例

### ◎中学校の事例

高梁市立高梁北中学校  
高梁市立川上中学校

- ❁ふるさと創生プロジェクト
- ❁地域学習「KAWAKAMI DISCOVERY」

### ◎小学校の事例

高梁市立福地小学校

- ❁福地PR大作戦…福地の琥珀（商品開発）  
→地域の菓子店や高梁城南高校との連携

高梁市立川面小学校

- ❁開校150周年式典  
→児童による企画・運営
- ❁川面・高倉を有名にし隊…“撮り鉄”テーマ  
→地域住民の協力  
高梁中学校との連携による写真展示

高梁市立宇治小学校

- ❁閉校プロジェクト  
→児童による企画・立案・実施  
ICTの積極的活用

# 県立高校等をめぐる高梁市の動き

## 🌸 高校（県立高校）の魅力化

### 県立高校再編の動き

県立高校再編による市への影響⇒高梁市の将来を左右

- 😞 中学生の進路選択への影響
- 😞 地域産業・経済へのマイナスの影響
- 😞 人口流出の加速化 等

## 🌸 中・高校生等の学びと活動への支援

「社会の創り手」  
育成も意識

### 高梁市の教育の重点（Society5.0の時代に必要な力の育成）

- 😊 地域との協働による探究的な学習の充実
- 😊 就学前から大学を見据えた一貫教育  
（小・中学校の学習との連携、継続・発展等）

# 高梁市が取り組む高校魅力化

## A 推進体制

### ① 担当者

- ・ 高校魅力化担当 ⇒ 役割の明確化、市役所内外への窓口の明確化(R4~)
- ・ コーディネーター ⇒ 学校と地域、行政と学校・地域を結ぶ等(R3~)
- ・ 地域おこし協力隊員 ⇒ 県外生徒へのサポート（生活支援・地域連携）  
SNS等での魅力発信(R5~)

教育委員会と定期的に作戦会議

### ② 庁内横断的組織

- ・ 高等学校魅力化推進プロジェクトチームの設置(R4.10~)  
〈8課8名〉 ※発足当時の課名  
理財課、秘書企画課、デジタル・未来戦略課、産業振興課、農林課、  
住もうよ高梁推進課、市民課、こども教育課（事務局：こども教育課）

コーディネーターがオブザーバー参加

### ③ 予算

- ・ 市費で人的配置、魅力化事業を予算化

# 高梁市が取り組む高校魅力化

## B 具体的な取組

### ① 高校（高校生）に対して

- ・ 全国募集の強化 ⇒ 「地域みらい留学」へのエントリー
- ・ 授業、部活動への支援 ⇒ 天満屋との連携・協働
- ・ 総合的な探究の時間への協力 ⇒ サポーター、発表会での助言等
- ・ 専門性の発揮や活動の場の提供 ⇒ 松山踊りポスターほかの作成、  
みらい共創チャレンジ（予算面での支援）

### ② 市役所（職員）に対して

- ・ 県立高校魅力化ビジョンの作成（チームからの提案）
- ・ 職員説明会の開催

### ③ 小中学校や地域等に対して

- ・ 高校の教育活動の発信 ⇒ まちなか美術館、小学生向けイベントでの体験活動
- ・ 中学校教員向け ⇒ 高校めぐり研修会（新採用、市外から転入の職員等）
- ・ 小中高等学校の連携 ⇒ 総合的な学習（探究）の時間担当者会  
就学前や小中学校の授業との連携
- ・ 地域への積極的広報 ⇒ 「広報たかはし」特集、高校newsの連載

# 高梁市が取り組む高校魅力化

## 高梁市役所職員説明会 (R7.7.8)



### 1 知らないことが多かったか？

とてもそう思う	22.6%	} <b>77.4%</b>
そう思う	54.8%	

### 2 市と県立高校の連携はもっと進めるべきだと思うか？

とてもそう思う	38.7%	} <b>96.8%</b>
そう思う	58.1%	

### 3 所属する課で県立高校にもっと関わりたいと思うか？

とてもそう思う	19.4%	} <b>77.5%</b>
そう思う	58.1%	

# 高梁市が取り組む高校魅力化

## C 高校生みらい共創課(令和7年4月～)

### 設置目的

- \* 行政と高校生との共創により、高梁市のまちづくりを進める。
- \* 高校生自らが地域課題の解決や地域の活性化、産業の創出等に係る事業を企画立案し提案することで、地域と向き合い社会と関わる経験を支援する。
- \* 高梁市の行政課題や市役所業務等について、高校生の理解促進を図る。

# 高梁市が取り組む高校魅力化

## 1 設置の経緯

### 高梁市

- 高校の統廃合は市の将来を左右する課題との認識
- 高校の魅力化を支援
- 市役所内に高校魅力化推進プロジェクトチームの設置

### 県立高校

- 各校における特色・魅力ある教育活動
- 総合的な探究の時間の充実（地域をテーマとした課題解決、地域活性化等）

連携

位置づけの明確化、継続性

更なる取組の充実・発展

高梁市と市内岡山県立高等学校との連携に関する協定  
(令和6年12月)

令和7年4月 高梁市高校生みらい共創課設置



# 高梁市が取り組む高校魅力化

## 2 「高校生みらい共創課」の設置

1年間の特任職員

- ・ 設置：令和7年4月16日発足
- ・ 対象：県立高梁高校、県立高梁城南高校の生徒
- ・ 構成：各校6名ずつ 計12名員  
※課長1、課長補佐2、係長2
- ・ 場所：市役所2階 特設スペース
- ・ 活動：週1回午後2時間程度（総探の時間を活用）  
※高梁高校…金曜日、城南高校…水曜日  
月1回程度合同会議
- ・ 伴走：高校魅力化推進プロジェクトチーム

- ❁ 令和7年度 課として設定したテーマ  
「若者が魅力を感じられる高梁市」



# 高梁市が取り組む高校魅力化



活動の様子



関係課からの情報収集



市長や幹部職員との懇談会



課全体の  
合同会議



会議・研修会へ参加  
(社会教育課主催)



地域学校共同活動研修会(R7.7.31)  
「若者が活躍する地域学校協働活動」



市役所外での活動の様子

### 生徒が主体の活動

高校生の自主的な活動や、地域の課題を解決するための活動など、生徒が主体となって取り組む活動が、この共創課の大きな特徴です。生徒の創意工夫や、地域との連携が、活動の大きな推進力となっています。

8月までに参加した関係課主催の会議・研究会等

- 5月12日(月) 高梁市観光みらい会議(観光課)
- 7月29日(火) 農中高協まるごとキャンパス「炊飯ツアー」(総合企画課)
- 7月31日(木) 高梁市地域学校協働活動研修会「社会教育課」
- 8月19日(火) 高梁市まち・ひと・しごと総合戦略有識者会議(秘書企画課)

### 「高校生みらい共創課」とは

本課は、本市の高校生が主体的に地域課題を解決するための活動を行うための場として、令和7年度からスタートしました。高校生が主体となり、地域の課題を解決するための活動を行うことで、地域の活性化や、社会貢献に貢献することを目的としています。

### 「高校生みらい共創課」の取り組みを紹介します

本課では、高校生が主体的に地域課題を解決するための活動を行うための場として、令和7年度からスタートしました。高校生が主体となり、地域の課題を解決するための活動を行うことで、地域の活性化や、社会貢献に貢献することを目的としています。

### 高梁城南高校チーム 活動テーマ『20代が楽しめるまちづくり』

#### 教育のまちうかんで大人の里山留学を

当初は、高梁市について知らないところから、市役所の仕事も全く分からないところからのスタートでした。この半年間で、会議や現地での活動を通じて、地域の皆さんに様々なことを教えていただき、貴重な経験を積むことができました。

現在は、私たちのチームでは移住・関係人口の拡大をゴールに加え、『20代が楽しめるまちづくり』をテーマに活動しています。具体的には、市が応援で行っている移住体験プログラム「大人の里山留学」事業を有漢地域でも行い、里山留学で来た人と地域おこし活動を行いたいと考えています。有意では、元々保育関係者など人口・関係人口の拡大に向けた取り組みを積極的に行われていたため、地域の皆さんのような工夫をされているのかを将来的には、他地域でも展開できる取り組みを行ってみたいですね。

今後は、市に貢献できるような活動していくことももちろんですが、「高校生だから」「子どもだから」という思いをまず、逆に高校生ならではの視点で、「何ができるのか」「何をしたいのか」ということを重視しながら、高梁市の良さを市内外に広げていきたいと考えています。

#### 高校生みらい共創課の概要

- 構成 特任職員12人(行政組織と同様に課長、課長補佐、係長の役割を設け、それぞれに責任をもつて活動しています)
- 所属 県立高梁高校 2年生6人(普通科)
- 所属 県立高梁城南高校 2年生6人(電気科、デザイン科、環境科学科各2人)
- 活動 各学校の「総合的な探究の時間」等を活用し、週1回2時間程度の活動 ※活動は、「総合的な探究の時間」の単位として認定
- 場所 高梁市役所2階

高校生みらい共創課は、来年1月下旬に成果発表報告会を予定しています。今後も地域の皆さんをお呼びしながら事業を進めていきたいと考えています。ひたむきに夢に向かって頑張る高校生を応援よろしくお願いします！

### 若者が魅力を感じられる高梁市を

本課では、高校生が主体的に地域課題を解決するための活動を行うための場として、令和7年度からスタートしました。高校生が主体となり、地域の課題を解決するための活動を行うことで、地域の活性化や、社会貢献に貢献することを目的としています。

#### 高梁高校チーム 活動テーマ『観光で活気ある高梁市に!』

##### 修学旅行先を高梁市に

現在、台湾からの修学旅行生の誘致を目指し、企画書の作成を進めています。この半年間で地域へ向かい、皆さんから様々なことを教えていただきました。この経験をもとに、魅力的な場所がたくさんある高梁市へ来ていただけるようなプランを作りたいと考えています。また、「修学旅行」がテーマなので、楽しみながらも学んでいただけるように意識して作成しています。

「台湾」をターゲットにしたのは、高梁高校は台北市、高梁市図書館では高梁市と交流があったため、その繋がりを生かしたいと考えたからです。現在の目標としては、年間40〜60人の旅行の5〜6割を希望しています。さらに、この企画を認知し、台湾以外にも広げていき、関係人口の拡大に繋がってほしいと考えています。

今後も、高校生みらい共創課として、高校生ならではの視点や考えを出していきたいです。また、自信を持って、高校生らしさを武器に若者が魅力を感じられるまちづくりの一環を担えるよう取り組みます。何よりも、このような場で活動できていることをチャンスと捉え、自分たちが楽しみながら活動していきたいと思っています。

##### 廃園カフェをつくらう

私たちのチームは、市外から来ているメンバーもいて、高梁市について知らないことも多かったのですが、高校生みらい共創課の活動を通じて高梁市の魅力が地域のたくさんの方に教えていただき、知ることができました。そして様々な経験を積んでいきながら、「若者が魅力を感じられる高梁市」を課のテーマに決めて活動を進めてきました。そして現在、市内の各幼稚園・保育園が統合となったことで、廃園になった幼稚園をカフェとして跡地活用したいと考え、最近では、市内のカフェをモデルとした廃園でのイベントを行う予定で準備しています。課のテーマに合うよう、10代〜20代の若者が主体的に楽しめる、地域の歴史や文化、廃園の歴史について、廃園をイメージした、来年に当時の子ども時代を思い出せるような工夫をしたいです。また、今後はカフェメニュー作成やコースター制作などもできる体験型のイベントも企画していきたいと考えています。高梁市は子どもの数が減っていますが、だからこそ若い世代が魅力を感じられるまちを目指して、様々な取り組みを行い、まちを盛り上げていきたいと思っています。

# 令和7年度 高梁市高校生みらい共創課成果発表会

## ～若者が魅力を感じられる高梁市～

高校生が高梁市の課題等について考え、解決に向けて企画・実践した活動について報告するとともに、活動を通して感じたことや次のみらい共創課へ伝えたいこと等を発表します!

※日時:令和8年1月30日(金) 16:00~17:00  
 ※会場:市役所 3階大会議室  
 ※プログラム

- (1) 活動報告
  - ① 修学旅行を高梁市に
  - ② 廃園カフェをつくらう
  - ③ 教育の魅力で若者を高梁市に
- (2) 活動の振り返り

### ※高校生みらい共創課

令和7年4月から、岡山県立高梁高校と岡山県立高梁城南高校の生徒12名が、市役所に出動し、職員と協働しながら、地域課題の解決等に向けた方策を検討・提案・実施する取組をスタートしています!

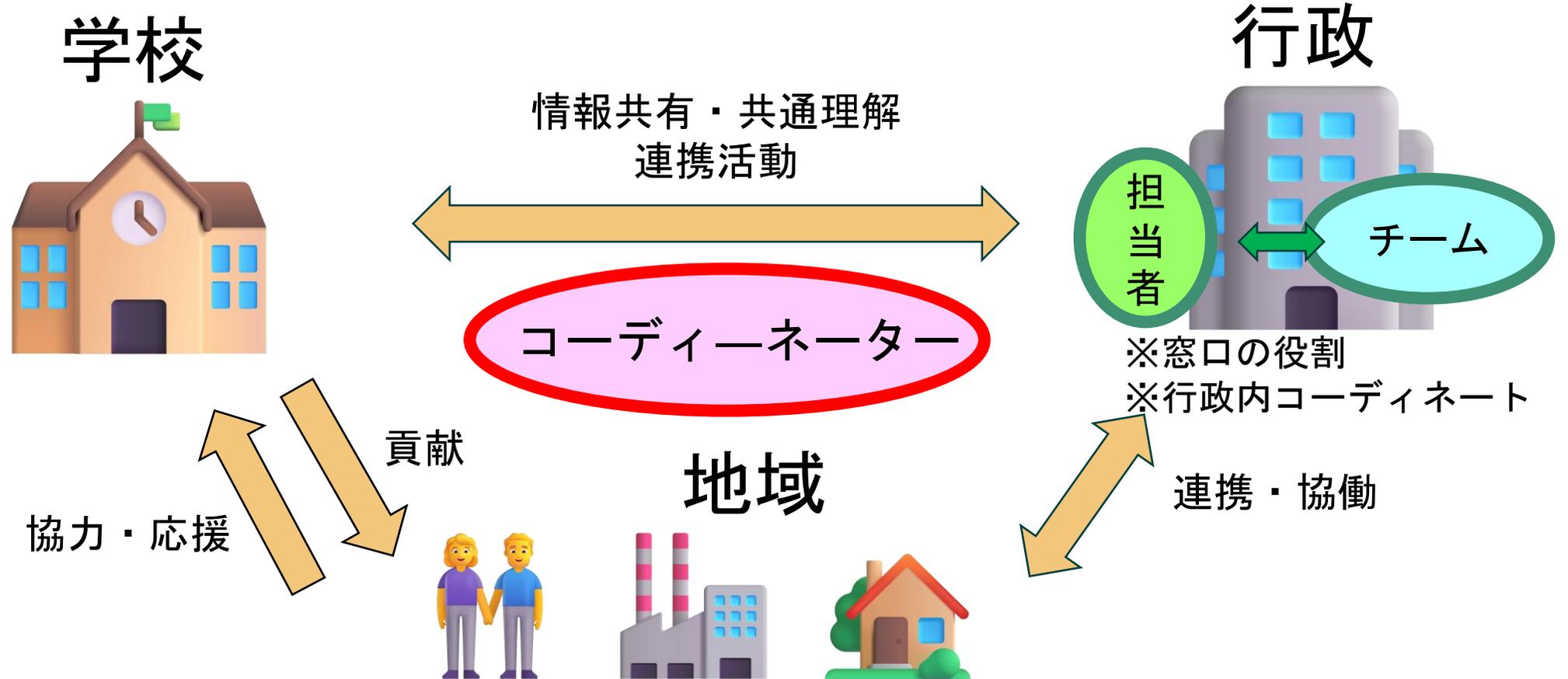
総合的な探究の時間に市役所で活動

市役所職員等と協働・共創

地域課題に本気で向き合う

※高梁市は、令和6年12月に、県立高梁高校及び県立高梁城南高校と連携に関する協定を締結し、未来を切り拓く人材の育成に協力して取り組んでいます。

# 高梁市が取り組む高校魅力化



様々な人や主体が高校に協力・応援、高校と協働  
→ 応援団のネットワーク化・継続化・力量向上

16

⇒ コンソーシアムの設立へ

# 高梁市が取り組む教育施策

- ・探究的な学習(PBL)
- ・ICTの活用
- ・就学前から大学までの一貫教育

地元の子ども・保護者が  
魅力を感じる  
高梁の学校(学び)

- ・全国募集(高校)
- ・義務教育学校の開校
- ※教育留学(保育園留学)

全国・市外から選ばれる  
高梁の学校(学び)

教育を「核」とした  
地方創生

教員が働きたいと感じる  
高梁の学校(学び)

学校と共創することで  
活性化する地域・大人等

- ・学校種を超えた学び合い・交流
- ・ミライティーチャーズアカデミー高梁  
(ソニー教育財団との共同による  
リーダー養成プログラム)

- ・コミュニティ・スクール
- ・包括連携協定(県立高校)
- ・高校生みらい共創課(県立高校)
- ・高校魅力化コンソーシアム(予定)
- ※ハイスクールコンソーシアムと地域コンソーシアム

# 高梁市が取り組む教育施策

- ・探究的な学習(PBL)
- ・ICTの活用
- ・就学前から大学までの一貫教育

地元の子どもと保護者が  
魅力を感じる  
高梁の学校(学び)

- ・全国募集(高校)
- ・義務教育学校の開校
- ※教育留学(保育園留学)

全国・市外から選ばれる  
高梁の学校(学び)

教育を「核」とした  
地方創生

教員が働きたいと感じる  
高梁の学校(学び)

目指す学校・地域  
の実現を支える  
人材の確保・育成

学校と共創することで  
活性化する地域・大人等

- ・学校種を超えた学び合い・交流
- ・ミライティーチャーズアカデミー高梁  
(ソニー教育財団との共同による  
リーダー養成プログラム)

- ・コミュニティ・スクール
- ・包括連携協定(県立高校)
- ・高校生みらい共創課(県立高校)
- ・高校魅力化コンソーシアム(予定)
- ※ハイスクールコンソーシアムと地域コンソーシアム

# 教育を「核」とした地方創生

## 高校魅力化の取組

- ・ 高校の存続
- ・ 持続可能なまちづくり



## 教育を核とした地方創生

- ・ 将来の担い手を中心に据えて
- ・ 地域の「ひと」「もの」「こと」「資金」「情報」「熱」の掘り起こしとネットワーク化
  - 次代を支え育てる意識と力
  - 地域自体の元気・活力
- ・ 若者がチャレンジできるまち“高梁”への進化

高梁市の未来に関わりたい!